

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について

2. 日時：令和4年11月29日 14:55～15:20

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

日立造船株式会社：

脱炭素化事業本部プロセス機器ビジネスユニット原子力機器事業推進

室長 他7名※

5. 要旨

（1）日立造船株式会社（以下「日立造船」という。）から、本日の審査会合（第20回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において議論された以下の事項についての確認があった。

○ バasket材料にアルミニウム合金を用いることの妥当性について、アルミニウム合金の熱暴露に伴う強度低下の考慮について、文献、機械試験用供試材の試験結果、シミュレーション結果を用いた説明の再整理を行うこと。

○ アルミニウム合金の強化機構による伝熱機能への影響を説明すること。

（2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。

（3）日立造船より、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料なし

以上